

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)の運用状況

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)

追加型投信／国内／株式

2017年5月30日

当ファンドでは、3月期決算企業を中心に業績動向を精査し、中長期的な利益成長ポテンシャルの高さや、慎重な会社業績予想からの上振れ期待などに着目して積極的に銘柄入替えを行いました。

1. 企業業績の動向

2016年度の経常利益は市場予想を上回って着地

上場企業の3月期決算がほぼ出揃いました。2016年度の金融を除く全産業の経常利益成長率の実績(図表1下段)は+5.5%となり、4月18日時点の市場予想の+1.1%を上回りました。当初、経常利益の減益が予想されていた製造業が、円高進行の一服による輸出関連企業を中心とした収益率の改善や原価低減効果の寄与などにより増益に転じたことが、全産業の経常増益率を押し上げました。

2017年度会社予想は例年通り慎重な見通し

2017年度については、金融を除く全産業ベースの経常利益の会社予想は+5.3%の増益が見通されています(図表1下段)が、製造業、非製造業ともに4月18日時点の市場予想を下回りました。ただし、例年、会社の業績予想は慎重な見通しが示される傾向があることや、5月に入ってから国内株式市場が堅調に推移していることを考えると、慎重な会社予想は相当程度株価に織り込まれていたと思われます。

一方、2017年度業績の会社予想は、売上高の伸びに比べ経常利益の伸びが保守的な計画になっていると思われます。特に製造業では+4.1%の比較的高い売上高の伸びが見込まれているにも関わらず、経常利益増益率は+6.9%にとどまる見通しです。これは、2017年度の為替前提を円高方向で計画していることなどが背景にあると思われます。また、製造業、非製造業ともに人件費や輸送費用などコストの増加を見込んでいることなども慎重な会社計画につながったものと思われます。

2. 当ファンドでの運用状況

当ファンドでは、企業業績を精査し、中長期的な利益成長ポテンシャルの高さや、慎重な会社業績予想からの上振れ期待などに着目して銘柄入替えを行いました。

買付では、チップマウンター(電子部品等の基板実装装置)の用途拡大による利益成長ポテンシャルの向上が期待された富士機械製造や、国内道路補修工事の増加の恩恵を受けると考えられたニチレキなどを新規に組み入れました。一方、投資先企業の売却による利益獲得計画が想定よりも低いものとなったデジタルガレージや、RFID(非接触でデータを読み取るシステム)の普及により、棚卸作業などの流通支援サービス需要の減少が懸念されたエイジスなどを売却しました(図表2)。

今後も、利益成長期待の高い銘柄を選別していくことで、ファンドのパフォーマンス向上に努めてまいります。

(図表1) 企業業績集計

2017年4月18日時点

	2016年度(市場予想)		2017年度(市場予想)	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
全産業(除く金融)	-3.0%	+1.1%	+4.6%	+16.3%
製造業	-4.0%	-4.4%	+5.5%	+24.9%
非製造業	-1.8%	+7.4%	+3.6%	+7.5%

2017年5月25日時点

	2016年度(実績)		2017年度(会社予想)	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
全産業(除く金融)	-4.7%	+5.5%	+3.2%	+5.3%
製造業	-3.9%	+3.1%	+4.1%	+6.9%
非製造業	-5.7%	+8.3%	+2.1%	+3.5%

(※1) 集計対象はTOPIX500構成銘柄の1月、2月、3月決算企業のうち、市場予想の取得が可能な370社。

(※2) 2017年度会社予想が非開示の企業は市場予想値を代用。

(※3) 2016年度決算未発表の富士フイルムホールディングスは実績、予想ともに市場予想値を代用。

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(図表2) 5月の当ファンドの主要売買銘柄

主な買付銘柄

銘柄コード	銘柄名	業種
6134	富士機械製造	機械
2410	キャリアデザインセンター	サービス業
5011	ニチレキ	石油・石炭製品

主な売却銘柄

銘柄コード	銘柄名	業種
4819	デジタルガレージ	情報・通信業
4659	エイジス	サービス業
6200	インソース	サービス業

(期間) 5月1日～5月26日。

(※) 本資料における銘柄紹介は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

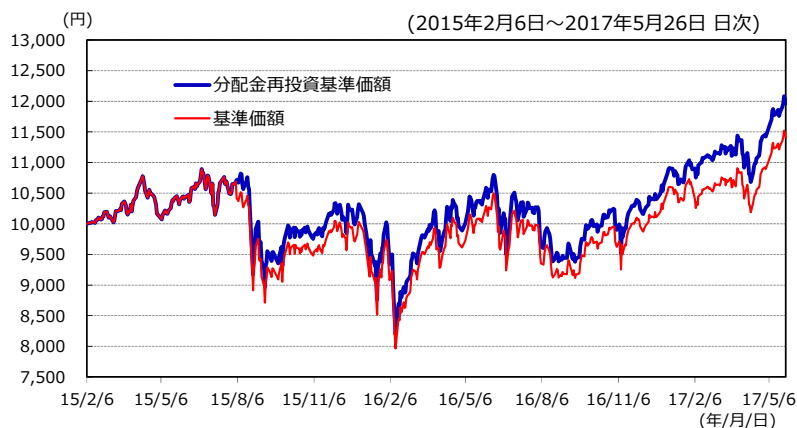


ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

運用状況

(作成基準日：2017年5月26日)

設定来の基準価額の推移



ファンドの状況

基準価額	11,410円
純資産総額	7,353,159,057円
株式組入比率	94.4%
組入銘柄数	83銘柄

※ 基準価額は1万口当たりです。

※ 左記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※ 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
 ※ 分配金再投資基準価額は、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
 ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	小売業	14.3 %
2	情報・通信業	12.7 %
3	サービス業	12.5 %
4	電気機器	10.2 %
5	化学	8.8 %
6	機械	6.7 %
7	卸売業	5.0 %
8	医薬品	4.0 %
9	建設業	4.0 %
10	ガラス・土石製品	3.1 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄コード*	銘柄名	構成比
1	3679	じげん	3.8 %
2	3092	スタートトゥデイ	3.4 %
3	4290	プレステージ・インターナショナル	3.0 %
4	4587	ペプチドリーム	2.8 %
5	6516	山洋電気	2.5 %
6	6941	山一電機	2.2 %
7	4403	日油	2.1 %
8	3076	あい ホールディングス	2.0 %
9	6284	日精エー・エス・ビー機械	1.9 %
10	4633	サカタインクス	1.8 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部大型株	0.0 %
東証1部中型株	12.0 %
東証1部小型株	65.8 %
東証1部その他	0.0 %
東証2部	2.7 %
JASDAQ	3.6 %
東証マザーズ	10.3 %

※ 業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星) ファンドの特色

- 日本の成長が期待される企業の株式※へ投資を行います。
 ※日本の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式を主要投資対象とします。
- 成長企業の選別に当たっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。
- 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に注目します。
- 株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資環境や市況動向に対応し投資信託財産の純資産総額の0%から100%の範囲で機動的に変更する場合があります。なお、株式の実質組入比率の引き下げを目的として、株価指数先物取引を行う場合があります。



(作成：エクイティ運用部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
 - その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
飯塚中川証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第1号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
西村証券株式会社	近畿財務局長(金商)第26号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
リーディング証券株式会社	関東財務局長(金商)第78号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)